



道程

西東京市立ひばりが丘中学校

第3学年

第10号

令和7年5月28日発行

修学旅行の疲れもあってか、インフルエンザや新型コロナウイルスなどが流行っています。週末に運動会を控えていますので、体調には充分気を付けてください。

今回はB組の作文を紹介します。



楽しかった修学旅行

B組

この修学旅行は、一生の思い出に残ると僕は思います。そんな修学旅行の三日間を発表します。

一日目の移動。本題は民家ステイです。僕はカズキさんという方の家にステイさせていただきました。実はカズキさんの家は、お寺でした。そのため、普通の人は入れないところに入らせていただき、梵鐘という鐘も特別に鳴らすことができました。昔は、その鐘は時間を知らせるものだったと言われています。そして、民家の方の指示もありながら料理をしました。僕が作ったのは、きんぴらごぼうと豚汁でした。とても美味しかったです。

二日目は、法隆寺、東大寺、奈良公園などに行きました。中でも一番印象に残ったことは、東大寺にいる盧舎那仏です。僕は、国語の授業で東大寺を調べたのですが、どのくらい大きいのかは写真だけではわかりませんでした。しかし、実際に東大寺で正面から見たら、ほぼ足しか見えないくらい大きかったです。

最終日は、タクシーに乗っていろんなところに行きました。の中で一番楽しかったのは、清水寺でした。弁慶の武器を持ったり、神様の体内に入ったり、景色もすごくきれいでした。

今回の修学旅行は、人生で絶対に忘れないくらい印象に残った楽しい修学旅行でした。

古き文化の美しさ

B組

私は修学旅行に行く前、「京都・奈良」という言葉を聞いて、昔の文化や建物が残っている場所なんだろうな、と思った。実際、歴史の授業でやったようなおもしろい文化をたくさん見ることができた。しかし、ただ単純に、文化が残り、建物が突っ立っているわけではなかった。私はあの三日間で古き文化の中にある美しさの真髄というものを知ることができた。

一日目の民泊ではホストファミリーの方が温かく迎えてくれた。一緒にまわった方を「マミー」と呼び、マミーから明日香村のことをたくさん教わった。寺社仏閣は飛鳥時代のものが多いが、大仏や建物がきれいに保存されていた。私はそれがとても不思議だった。約三年前から住んでいる私の部屋の方が汚いなんて。でも、よく見てみると、こまめに掃除している人がいて、土足禁止や撮影禁止などの明確なルールをつくり、拝観者はそれをしっかり守ることで建物がきれいに保たれていた。また、一番びっくりしたのはマミーたちの地域交流だった。マミーは色んな人とコミュニケーションをとっていて、「大切な文化を守りたい」という共通認識があるんだな、と感じた。

また、三日目のタクシー行動では、気になったこと全部をタクシーの運転手に聞いた。私は京都・奈良の寺社仏閣が東京と比べて、とても大きく広いことに気づき質問した。すると運転手さんは、東京や大阪にはたくさんの空襲があったが、京都・奈良では被害が少なかったから文化がよく残っていると教えてくれた。それを聞いて私は、伝統のある文化を残していくということは平和の象徴ではないかと思った。

迫力のある大仏や日本一の木造建築物のある街はとても美しかった。しかし、平和によって続いていく伝統文化と、「文化を守りたい」という気持ちでつながる人々も、同じくらい美しいと私は思った。

